

一皮むけた地域の担い手

耕人塾第6期 中高生27人が胸張り修了



修了生と教職員らが半年間の頑張りを振り返った

石巻地方の中高生が人間力を育む「耕人塾」(塾長・木村民男、石巻専修大学人間学部教授)の第6期修了式が先日、石巻専修大学で開かれた。本年度は17中学・高校から35人が受講し、このうち27人が修了。「世界に誇れる石巻地域にしよう」と発信し「未来へ」のテーマのもと、実践活動などに取り組んできた塾生が凛とした眼差しで修了証を受け取った。

閉塾式では木村塾長

が「多くの人が皆さんの頑張りに関心を持っており、地域の気付きにつながっている。そのエネルギーで石巻をもっと良くしてほしい」と活動を通して一皮むけた塾生たちのさらなる活躍を願った。

その後、修了生一人一人に木村塾長から修了証が授与され、壇上ではそれぞれに半年間で得た学びを語った。石巻西高3年の貞廣大さんは「何でも進んで行うことの素晴らしさを学んだ。耕人塾は恩師」、桜坂高2年の生平愛依さんは「知らないことや考えたことのないものをここで学ぶことができた」、渡波中3年の阿部結芽さん

は「石巻をこれまで以上に好きになれた」と堂々と述べた。

記念撮影に続いて記念パーティーも開かれ、塾生と教職員らが分けへだてなく懇談。半年間の頑張りを振り返った。

返った。

同塾は平成24年度に石巻専修大や小中学校教諭らで開講。今期を含めて6年間での修了生は延べ130人を超えている。本年度は6月の開塾後に2つの

実践活動を進め、特に「プロジェクトK」では、石巻市最大の行事である石巻川開き祭りの清掃活動を地域団体と連携して行うなどし、多方面から評価された。